

# 会瀬 芋トマト

会瀬学区 HP <http://www.net1.iwav.ne.jp/com-ose06/>

## 第219号

発行責任者：柴田 和彦  
編集責任者：皆川 直司  
電話：会瀬交流センター  
0294-25-1577  
印刷：大成印刷株

# 平成30年 謹賀新年



**新年のご挨拶**

新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。  
会瀬学区の皆様には、日頃より会瀬学区コミュニティ推進会、学区社会福祉協議会の運営にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

地域が、少子高齢化、人口が減少する中、学区コミュニティ活動は地域住民と肩寄せ合いながら明るく活力ある長寿社会をめざして「わたしたちのまち」会瀬学区を新たな発想をもって発展させてまいります。

さて、東日本大震災から6年が経過しました。今年は、あの時の教訓を生かした事業が本格化します。津波、高潮等から地域住民の生命、財産を守る事業として海岸保全施設整備工事が会瀬漁港海浜広場周辺及び、会瀬青少年の家グラウンド東側海沿いの2か所から施工しています。

さらに、会瀬海水浴場周辺から初崎磯近くの神社周辺まで工事が計画が予定されています。また、交流センター健康増進室には、卓球台2基をそろえて、老年若年や家族間の交流の居場所づくりを行っています。

会瀬学区は、歴史的にも伝統文化と青少年の健全育成に力を注いでおります。特に、平成29年度、会瀬小学校は地域とともにある学校づくりのための学校運営協議会制度のもと、コミュニティ・スクールとして県北で最初のモデル校になりました。学校の教育活動に学習支援ボランティアとして学校、地域と連携して、協働で子どもたちの成長を支援する重要な役割を担うことになりました。学区の皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして実り多き1年になりますよう心からお祈り申し上げます。

会瀬学区コミュニティ推進会  
会長 柴田和彦

## \*\*お知らせ\*\*

### 第二十八回 「浜の焚きあげ祭」のご案内

地域の皆様のふれあいを深め、一人一人の健康と安全安心を願い、子どもたちの健全育成を祈る「浜の焚きあげ祭」も二十八回を迎えます。今回も会瀬小学校の理解と協力によりまして授業の一環とし全校生徒が参加した行事となりました。児童たちの健康と安全を考慮して昨年と同様時間を早めて計画しています冬の午後浜辺で子どもたちの元気な姿を見てください。高潮予防の土のうが大量に砂浜にありますので注意してください。

期日 平成三十年一月十五日 月曜日  
悪天候の時は順延

場所 会瀬青少年の家グラウンド  
主催 会瀬学区コミュニティ推進会  
協力 会瀬小学校・同PTA・子ども会育連合会・日立第四消防団  
日程 小学生  
午前中 普通授業 雨天の場合は不参加で普通授業  
十三時四十分 会場到着 先生の指導で凧揚げ見学  
十四時十五分 焚きあげ祭 開始  
二十五分 点火 浜太鼓見学  
十五時十分 通学班で自宅へ  
地域の方々 十五時以降は大人の時間  
\*一月十四日(日)  
正午以後に焚きあげる物ご持参ください。  
焚きあげる物 しめかざり、門松、しめなわ、飾り松、神社のお札、お守り、だるま等  
その他正月の飾りもの、書き初めの反古紙等。  
交流会 甘酒、お茶、漬け物、ジュース類は用意します。  
酒類は各自ご持参下さい。  
消火 十七時に消火します。



**おもちゃライブラリー 1・2・3月開催**  
金曜日  
9時30分～11時30分

1月12日	2月2日	3月2日
19日	9日	9日
26日	16日	16日
	23日	23日

★12月29日・1月5日 年末年始  
イベントのお知らせ  
★1月26日 節分の鬼のお面作り  
★2月16・23日 ひな祭り準備お楽しみまつり

会瀬交流センター  
電話 25-1577

あ  
あの手この手と進化する!!  
悪質商法は、進化する!!  
TEL 0294-26-0069

健康料理教室 参加者募集  
～減塩食で生活習慣病予防～

日時 平成30年1月10日(水) 10時開始  
場所 会瀬交流センター  
会費 ひとり200円  
持ち物 電卓・三角巾 筆記用具  
みそ汁(半カップ)・エプロン  
メニュー ・きのこわかめうどん  
・イカにんじん  
募集人数 若干名  
申込み先 直接電話で  
会瀬交流センター TEL25-1577  
【問い合わせ】  
会瀬地区食生活改善推進委員  
鈴木 裕子 TEL 21-5766

【編集後記】  
寒くなると暖かい鍋物が夕餉に登場しますが、焼き芋もうまいものです。石焼き芋に、つぼやき芋、栗(九里)より(四里)うまい十三里。  
年末、年の暮、年の瀬、昔、会瀬にも新年の飾り物や正月用品を売る年末に立つ市、年の市(歳の市)がありました。

【問い合わせ】TEL 25-1577  
会瀬交流センター運営委員会

交流センター 年末年始  
休館日のお知らせ  
12月29日(金)から  
1月3日(水)まで  
休館日となります

**お知らせ**  
下記期間は、プラスチック製容器包装、紙箱類、ペットボトルの回収を行いますのであらかじめご了承ください。

**平成29年12月26日から  
平成30年 1月 3日まで**

【回収再開】平成30年1月4日(木)から

問い合わせ先: 日立市環境衛生課リサイクル推進室  
電話番号: 0294(22)3111

### ふるさと会瀬から

#### 正門橋（常磐線架橋）

近隣の皆様にと鉄道工事のお知らせが二枚配布された。一枚はJR水戸支社からで、正門橋跨線道路補修工事、完成予定日は平成30年2月中旬とある。もう一枚は市役所道路建設課からで夜間、橋の舗装工事をする知らせであった。昭和46年（1971年）に二度目の架橋をしてから46年。最近橋と道路に段差ができて、大型トラックが通るたびに振動と、大きな音が発生していた。最初の橋はいつ作られたのだろうか

昭和17年4月（1942年）会瀬国民学校初等科1年に入学した。住居は旭町で通学は集団登校だった。通学路は相賀町内だったが、正門橋はなかった。線路沿いの細い坂道を下り、線路を横切り再び坂道を上がり線路に沿った道を利用し登校した。

昭和20年（1945年）6月、アメリカ軍による爆撃攻撃で大きな被害を受けた日の午後、私は正門橋を渡り、道路に置かれた不発の1トン爆弾を見ている。黄色の火薬の色は今でも脳裏にある。その日、上空から撮影したアメリカ軍の写真にも正門橋は破壊されずに写っている。

皆川さん会瀬小の歴史など

株)マイステック関社長さん  
仕事についての講話



☆6年生 総合学習「伝え合おう！  
日本のよさ・日本の心」  
①茶道 ②華道 ③和裁（刺し子）  
④百人一首 ⑤墨絵 ⑥書道（仮名文字）  
⑦浄瑠璃



12月8日各講師を招待して  
各グループが発表を行う。



☆5年生家庭科「ひと針に心をこめて」

☆2年生音楽科「日本の音楽に親しもう」

会瀬浜太鼓の指導者  
子どもたちは覚えが早い

男の子どもたちも上手

昭和17年から昭和20年の間に正門橋は作られたのだが、いつだったのか。正門橋を必ず利用したのは相賀町・旭町から会瀬小学校へ通った子ども達。その子たちも現在80歳前後、何人かに聞いてみたが誰も記憶していない。相賀町に住んでいた故加納芳徳氏（昭和18年会瀬小入学）の戦争回顧録には、正門橋は昭和18年頃に作られたと記している。当時の戦局から考えられることは、昭和19年は敗色濃厚となり、日立製作所内でも職場の戦闘態勢を強化する方針がとられている。金属類回収も実施されている時勢に橋を建設することは不可能だ。となると、昭和18年に建設されたことになる。記録はない。当時の茨城新聞2年間の記事には一言も出ていない。市役所の記録にもない。戦時中は制約が厳しく、軍事に絡むこと一切が公にされなかったからだ。橋の建設も秘密にされたのだった。橋の名称の由来も定かでないが、場所と時勢に合っていることには違いない。

海老澤 公氏を悼む  
地域のさまざまな行事をビデオ撮影した海老澤 公氏（会瀬1丁目）が10月23日94歳の生涯を閉じました。撮影した数々のビデオは多くの人びとに喜びや感動を、そして安らぎを与えてくれました。それらの記録は、地域の自治活動にとっても貴重な財産となり、今後の活動の原動力でもあります。将来にわたる大切な遺産でもあります。海老澤さんは日立製作所の水力発電のエンジニアとして勤め上げ、定年退職後に趣味としてビデオ撮影に取り組みました。撮影中の生き生きとした姿は、地域の子どもたちや住民の目に焼き付けられているでしょう。  
エピソード 会瀬の定置網漁業の実際を撮影するため、漁船に乗り漁場に向かいました。あいにくと不漁で、絵になるような魚は獲れませんでしたが。作業の様子や漁師の話など取材し終了しました。出来上がったビデオを見てびっくりしました。あの日一歩に行った時には不漁だったのに大きなカジマグロをはじめとして大漁の様子が出ていました。すばらしい光景が画面いっぱいひろがっていました。海老澤さんは納得いく画面を求めて再度、漁場に行きました。編集に際しては同道者に気を配ったもので、何の違和感もない立派な作品でした。  
長い間ありがとうございました。  
ご冥福をお祈り申し上げます。